

葉山町議会議長 伊東圭介様

葉山町の教育環境の維持・充実のため、民間施設を教育施設として
利活用することを求める陳情

葉山町では学校をはじめとする教育環境の整備・充実がハード・ソフト両面で求められています。学校施設は、将来的な整備とすぐ取り掛かるべき整備などがあります。

その中で、特に喫緊の問題は上山口小学校旧校舎に設置されている「ヤシの実」で、葉山町の教育にとって重要な存在ですが、上山口小学校旧校舎の老朽化、耐震の問題など、その移転が急務となっています。葉山町の財政面では給食センターやクリーンセンター、公共施設の老朽化など今後、財政負担が増える見込みです。

それに加え、「ヤシの実」の移転先を考えると、適した町有地がなければ用地買収と建設、近隣住民の理解を得るなど時間を要し、多大な財政負担が見込まれます。財政負担を軽減し、「ヤシの実」移転を早期に実現させるには既存の施設の利活用がより良い方法です。

そこで、堀内光徳寺近く通称・諏訪の台にある（財）神奈川県経営者福祉振興財団・葉山研修センターはここ数年、同財団で利用されずに放置されており、これを「ヤシの実」の移転・設置場所として利活用することを求めます。

同研修センターは葉山町役場や葉山町教育委員会からも近く、晴れた日には富士山が眺められ、静かな環境にあるため適しています。

現在、同研修センターには、老人ホーム建設の計画がありますが、まちづくり条例の手続き中で、町との事前協議前の段階にあり、取り付け道路の問題など入居者の安全を確保できない恐れが多分にあります。また、いまだに老人ホーム経営者も未定の状態で、近隣住民の理解を得ることは到底困難な状況です。

さらにまた、この地は葉山町の御用邸別荘文化創生期の別荘第1号で、同別荘所有者池田男爵に触発されてベルツ博士の推薦により葉山町に御用邸が建てられる運びとなった葉山町の町史に残る由緒ある場所で、葉山町にとって遺産として大事に後世に残すべき土地と考えます。

なお、現在の立派な建物は大手建築会社および設計会社によって建てられたもので建築デザイン賞受賞に輝き、まだ十分に使用可能であり、近隣住民はこれを取壊しではなく、このままの姿での利活用を切望しています。

それ故、町の教育環境充実のため、地域コミュニティー等の推進のため、葉山町と教育委員会は葉山研修センターを「ヤシの実」の移転場所として、さらに学童や町民のために速やかに利活用することを陳情します。

なおまた、町長にも同趣旨の要望書を提出しました。

平成30年11月22日



[Redacted signature and address area]